

学力向上の取組について

1 今年度の取組について

RSの視点を意識した授業改善

- (1) 今年度の授業改善の方向性の確認をする。【資料1】
⇒ 「心豊かに力強く生き抜く読解力向上『相馬プラン』」、「相馬メソッド」に基づく授業改善を進める。
- (2) 科学的・客観的なデータに基づいて分析し、実態把握を行う。【資料2】
⇒ 「一般財団法人 教育のための科学研究所」からの分析結果、「福島県教育委員会から提示された『RST結果グラフ化ツール』」を活用して分析を行う。
○ 集団の全体の傾向を把握し、データを一斉指導に生かすことができる。
(経年比較、箱ひげ図など)
- (3) これまでの成果と課題について

【成果】

- 児童生徒について
- ① 「共書き」「聴写」「視写」を継続したことで、書くスピードが向上し、授業への集中力が高まった。(読みの凸凹が減少し、スタートラインがそろう)
 - ② 教科書の重要な部分に線を引いたり、丸で囲んだり、色分けしたりするなど継続して取り組んできたことで、文章と資料を正確に結びつける力が育っている。
- 教員について
- ① RSを意識した授業に対する理解、意識が高まっている。
(構造的な板書、辞書活用、聴写・音読・指差し確認等)
 - ② 授業準備の段階で子どもたちがつまずきそうな語彙(学習言語)をあらかじめ見取ったり、教科書を深く読み込んだりする習慣が定着してきた。



児童生徒への指示が通るようになり、授業がやりやすくなっている。

- 全体として
- ① 全国学力・学習状況調査について 【資料3】
 - ・小学校の結果状況
 - ・中学校の結果状況
 - ② ふくしま学力調査について 【資料4】
 - ・上位層、下位層の傾きが大きいことから、「学力の伸び」が見られる。
 - ・下位層の底上げが見られる。

【課題】

- 算数・数学の学力向上対策について 【資料5】
全国学力・学習状況調査の問題は、児童生徒の「現在の」学力・学習状況を把握する調査であり、実生活の場面で知識を活用する力や思考力、判断力、表現力、つまり、現在求められている力(単に答えを求める力ではなく、理由を説明する力、具体的な事象からわかることを説明する力)が問われている。調査結果から、平均正答率が低かった問題を見てみると、本市の児童生徒は、表やグラフ、データなどの複数の情報を読み取り、それを活用する問題に課題がある。



RSTの分析結果と全国学力・学習状況調査の問題には、ほとんどの項目で、中程度の相関関係があることから、普段の授業の中で、RSの視点を意識した取組を継続して行う。

特に、算数・数学にかかわる項目として、以下の2つの視点を意識する。

- ① 文章とデータや図・グラフを照らし合わせる力の育成〔イメージ同定〕
(文章と図・グラフの対応関係を読み取ったり、複数の情報を根拠をもって説明させる活動)

- ②定義や理論を具体的に説明する力の育成〔具体例同定（理数）〕
（算数・数学の定義や理論をより理解するため、授業において、その内容を言い換えたり、具体例を挙げるなど自分なりに説明したりする活動）

● 中学校の学力向上対策について

- ①小中連携を意識した取組を継続していく。（R 4に小5の児童が、R 8に中3へ）
- ②各小中学校での継続的な取組 **【資料6】**
- ・教育課程への位置付け、実践例の活用（RSタイムの週2回の位置付け）
 - ・授業における児童生徒の取組
 - ・RSの視点を意識した教員の取組
 - ・校内研修の充実に向けた取組
- ③指導主事による要請訪問・授業参観
- ・担当指導主事と学校支援担当指導主事で訪問し、指導助言を行う。
（RST研修会：R7年度29回、RST結果分析訪問：全13校）
- ⇒ 次年度も各学校2～3回の要請を受け、年30回程度予定

2 次年度の取組について

RSの視点を意識した授業改善（さらなる発展）

- (1) 次年度の授業改善の方向性の確認をする。 **【資料7】**
- ⇒ 今年度の反省を生かし、「心豊かに力強く生き抜く読解力向上『相馬プラン』」、「相馬メソッド」に基づく授業改善を進める。
- (2) 推進中学校区における公開授業研究会の開催
- 実施期日 令和8年11月10日（火）（小中同日、小中連携）
 - 会場校 小学校1校（中村二小）、中学校1校（中村二中）（講師招聘）
- (3) RSTだよりの発行 **【資料8】**
- ⇒ 公立学校研究指導員会等における協議内容や講師よりアドバイスいただいた授業改善のポイント等をまとめ、市内全教員での共有化を図るとともに、新たに市ホームページを通して、広く市民や保護者へ情報発信をする。
- (4) 今後の見通し（自走に向けて）
- 児童生徒について
読解方略のため、資料の作成を行う。
 - 教員について
相馬市に異動してきた教員へのRSへの取組について、各校における年度始めの共通実践・校内研修を行う。
 - 教育委員会について
相馬市に異動してきた教員に対して、相馬市公立学校研究指導員会の実践報告会や講演会への参加（希望者）やRSの取組に関する動画作成など実施し、理解を深めていく。